



みよし剛史



塩沢みつえ

発行：日本共産党
福山市議会議員団
津之郷町津之郷 970-1
084-952-2662

高い国保税 値上げやめて！

2063人の署名提出



福山社会保障推進協議会は6月4日、国民健康保険の値上げを止め、据え置きを求める請願署名2063筆を議会に提出しました。日本共産党市議団が請願の紹介議員となり、柳井優会長はじめ3名が議事調査課長に署名を手渡ししました。

対し、協議会委員から国保税の高騰によって市民生活に多大な影響を及ぼす懸念の声上がるなど、今後の運営について危惧する発言が相次ぎました。こうした状況も踏まえ、請願では、「決算剰余金や国保会計の基金を活用し、国民健康保険税額の値上げを止めること」の項目のみが求められており、緊急的な措置を速やかに講じる必要性が強調されています。

国保運営協議会で明らかに 8353円引き上げ!?

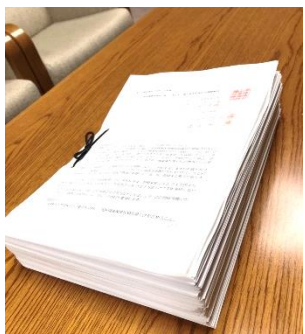
福山市は5月30日開催された国民健康保険運営協議会で、2023年度の国保税額を昨年度より8353円引き上げ、一人当たり12万64円とする改定案を示しました。単年度では過去最大規模の引き上げ幅であり、直近の3年間だけで1万4731円も引き上げられることとなります。

大幅値上げに 全く無批判

協議会の構成委員は市議の改選があったため代表議員の入れ替えがありました。今回の大幅な引き上げに対し、議員からの質疑や意見は全く無く、協議会はわずか30分足らずで閉会となりました。真摯な議論が尽くされているとは言えません。福山市議団の議員は会派要件が無いため、残念ながら参加できませんでした。

決算剰余金 約8億8千万円

2023年度の会計の見込みでは、歳入から歳出を差し引いた黒字が、8億8千万円にも上ることが明らかとなっています。一方で、今回の大幅引き上げによって増える収入は、約7億円となっています。そのため込み金を約9億円使ったと説明していますが、多額の黒字が出ているにもかかわらず、市民へのさらなる負担増では説明がつかず、引き上げの中止を検討すべきです。



願いが込められた請願署名

文教経済委員会報告

福山城の城泊 1泊132万円

5月30日に行われた文教経済委員会で、福山城に宿泊することができるサービスを7月から開始することが報告されました。

開始に向けて御湯殿に浴場を設置する施設整備が約2000万円かけて行われており、4月からすでに予約の受付は開始されています。現在の所、問い合わせは2件のみであることが明らかになりました。

最上階でのナイトラウンジなどのサービスを提供するための経費と、福山城等の文化財施設を利用するための使用料で、約20万円が福山市の収入となると説明しました。

使用料収入は文化財の維持管理に充てられるとのことでしたが、みよし剛史市議は、あまりに高額な商業利用であり、市民が文化財を身近に感じて関わられるような取り組みこそが必要であること指摘し、事業の方針転換を求めました。



体験スケジュール (予定)

- 1日目
 - 14:45 お迎え (福山駅)
 - 15:00 チェックイン (福寿会館)
 - 16:00 着付け (福寿会館)
 - 17:30 入城体験 (重要文化財「筋鉄御門」)
 - 18:30 饗応料理での御夕食 (月見櫓)
 - 21:00 ナイトラウンジ (天守最上階)
 - 22:00 入浴 (御湯殿)
- 2日目
 - 8:00 御朝食 (福寿会館)
 - 9:00 伏見櫓案内 (重要文化財「伏見櫓」)
 - 11:00 チェックアウト (月見櫓)
 - 11:15 お見送り (福山駅)